

			追加・変更意見	追加○/削除×	2019年度	2020年度
1397		散剤、注射液などの計量調剤である。				
1398		調剤業務(計量業務)の目的、基本の取扱いができる。				
1399		薬量、剤型、経路、剤形などの調剤に取扱いができる。				
1400		特別な注意を要する医薬品(特に性医薬品など)の取扱いを体験できる。				
1401		自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる。	・自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤できる ・自己注射が承認されている代表的な医薬品の取り扱い方を説明できる	×		
1402	計数・計量調剤の鑑査	調剤された医薬品に対し、鑑査の実務を体験できる。				
1403	服薬指導の基礎	適切な服薬指導を行うための患者から取る情報と伝える情報とを把握できる。				
1404		薬歴管理の意義と重要性を説明できる。				
1405		薬歴簿の記載事項を列挙し、記入できる。				
1406		薬歴簿の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。				
1407		妊婦、小児、高齢者などへの服薬指導において、配慮すべき事項を列挙できる。				
1408		患者に使用上の説明が必要な調剤(注射、吸入剤など)の取扱い方を説明できる。				
1409		自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる。		×		
1410	服薬指導入門実習	指示通りに医薬品を使用する(又は)適切な指導ができる。				
1411		薬歴簿を活用した服薬指導ができる。				
1412		患者向けの説明文書を使用した服薬指導ができる。				
1413		必要事項(患者手帳)を用いた服薬指導ができる。				
1414	服薬指導実践実習	患者に共感的態度で接する。				
1415		患者との会話を通じて病歴・服薬状況(コンプライアンス)、服薬上の問題点などを把握できる。				
1416		患者が必要とする情報を的確に把握し、適切に回答できる。				
1417		患者との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集し、必要に応じて見直しを提案できる。				
1418		入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉で、必要に応じて説明できる。				
1419	調剤録と処方せんの保管・管理	調剤録の法的規制について説明できる。				
1420		調剤録への記入事項について説明できる。				
1421		調剤録の保管、管理の方法、期間などについて説明できる。				
1422		調剤後の処方せんへの記入事項について説明できる。				

			追加・変更意見	追加○/削除×	2019年度	2020年度
1423		処方せんの保管、管理の方法、期間などについて説明できる。				
1424	調剤報酬	調剤報酬を算定し、調剤報酬明細書(レセプト)を作成できる。		×		
1425		薬剤師の技術評価の対象について説明できる。		×		
1426	安全対策	代表的な医薬事故(転倒)あるいは調剤過誤(漏れ)について調査し、その原因について指導薬剤師に報告できる。		×		
1427		名称あるいは外観が類似した代表的な医薬品を列挙できる。				
1428		特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、抗糖尿病薬など)を列挙できる。				
1429		調剤過誤を防止するために、実際に工夫されている事項を列挙できる。				
1430		調剤中に過誤が起こりやすいポイントについて討論する。				
1431		過誤が生じたときの対応策を討議する。				
1432		インシデント、アクシデント報告の記載方法を説明できる。				
1433	薬局カウンターで学ぶ	患者・顧客との接遇	かかりつけ薬局・薬剤師の役割について指導薬剤師と話し合う。			
1434		患者・顧客に対する適切な態度で接する。				
1435		薬局の業務における健康増進(セルフケア)ができる。				
1436		医薬品の安全管理を適切に行うことができる。				
1437	一般用医薬品・医療用具・健康食品	セルフケア(セルフケア)のための一般用医薬品、医療用具、健康食品などを適切に選択・供給できる。				
1438		顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。				
1439	カウンター実習	顧客が自らすすんで話ができるように工夫する。				
1440		顧客が必要とする情報を的確に把握する。				
1441		患者との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集する。				
1442		入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉で、必要に応じて説明できる。				
1443		疾病の予防及び健康増進(セルフケア)についてアドバイスできる。				
1444		セルフケア(セルフケア)のための一般用医薬品、医療用具などを適切に選択・供給できる。				
1445		医師への身体動向を適切に報告できる。				
1446		患者・顧客からモニタリングによって得た副作用および相互作用情報への対応策について説明できる。				

			追加・変更意見	追加○/削除×	その理由(追加)	その理由(削除)
1447	地域で活躍する薬剤師	在宅医療	訪問薬剤管理指導業務について説明できる	在宅医療における自己注射等について説明できる		
1448			在宅医療における医療廃棄物の取り扱いについて説明できる			
1449			薬剤師が在宅医療に関与することの意義を指導薬剤師と話し合う			
1450	地域医療・地域福祉		病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の重要性を説明できる		×	
1451			当該地域における休日、夜間診療と薬剤師の役割を説明できる			
1452			当該地域での長寿介護、介護支援専門員などの医療福祉活動の役割を把握できる			
1453	災害時医療と薬剤師		緊急災害時における、当該薬局および薬剤師の役割について説明できる			
1454	地域保健		学校薬剤師の職務を見聞し、その役割を説明できる		×	
1455			地域住民に対する医薬品の適正使用の啓発活動における薬剤師の役割を説明できる		×	
1456			麻薬・覚せい剤等薬物乱用防止運動における薬剤師の役割について説明できる			
1457			日用品に係る薬剤師の役割について説明できる			
1458			日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる		×	
1459			騒飲、騒食による中毒および食中毒に対して適切な対応がとれる		×	
1460			生活環境における消毒の概念について説明できる		×	
1461			話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる		×	
1462	地域対応実習		日用品に含まれる化学物質の危険性を列挙し、わかりやすく説明できる		×	
1463			騒飲、騒食による中毒および食中毒に対して適切な対応がとれる		×	
1464			生活環境における消毒の概念について説明できる		×	
1465			話題性のある薬物および健康問題について、科学的にわかりやすく説明できる		×	
1466	薬局業務を総合的に学ぶ	総合実習	薬局業務を総合的に実習する			
1467			薬局の業務の回復と維持に薬剤師が積極的に貢献することの重要性を説明できる			
1468			薬が薬剤の活用・活用防止を通じて、病気の予防とQOLの改善に貢献していることと説明できる			